

105 コミミズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク: B

Asio flammeus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

ヨーロッパから中央アジア、シベリア、北アメリカ中・北部、南アメリカ南部などで繁殖し、北方のものは繁殖後は温帯から熱帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、全国各地で越冬する。河川敷、湿原、農耕地、埋立地などの開けた環境に生息する。昼間は草むらの地上で休み、夕方から夜間にネズミ類やモグラ類、コウモリ類、小鳥類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、草垣群島、伊豆諸島、小笠原群島、南鳥島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、加東市、香美町



写真提供：友田達也

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌4月に生息する。かつては県内各地で単独または数羽の群れが普通に見られた。近年の開発で生息地が減るとともに急減した。現在では個体数は極めて少なく、生息地も非常に限られている。

保護上の留意点

採餌場所である農耕地周辺、河川敷など、餌となるネズミ類が豊富な広いヨシなどの高茎草地を保全することが重要。